

## グローバルリーダー育成センター（神戸大学医学部）業務報告

2013年3月13日

記入者 寺尾智史

【留学生学修指導】1000-1200 担当：寺尾

・エジプト人の研究生マジェドさん（片岡徹教授研究室）来訪。初級の自由参加希望。  
本日のフィールドワークにも同行。

【日本語・日本文化講座】1300-1645 担当：寺尾／木曾 TA ●第6回授業

・本日はフィールドワークを実施。  
・1320 に神戸大学医学部（楠キャンパス）を出発、1345 三宮到着、フィールドワーク開始。経路：三宮駅→①駅周辺→②フラワーロード→③花時計→④神戸市役所→⑤東遊園地震災モニュメント→⑥市立博物館→⑦旧居留地界限→⑧センター街→⑨CD・DVD 店（ジューク堂地下 HMV）→三宮駅、1645 解散。  
④神戸市役所では、1号館24階展望ロビーにのぼり、山手・海側を展望することによって、神戸の地理的特徴を把握。市章山を眺めて市章の由来を聞かれる。⑤東遊園地では、「阪神淡路大震災メモリアルモニュメント・1.17 希望の灯り」を訪ね、その設置意義を伝える。本件は日本文化講座の授業内容「日本における災害と防災」に対応。⑥市立博物館では、特別展「中国・王朝の至宝」および、神戸市域の歴史の常設展示をまわる。特別展では、受講生にとってあまり触れる機会の無い北東アジア諸地域の文化財を見ることによって、日本列島を含めこの地域が非常に多様な文化的背景を持つことを把握してもらった。常設展示については、古代（特に古墳時代）、近現代（開港～）が充実している一方で、展示に「近世」の部分が抜けていることを質問される。確かに、有馬・東灘などを除いて、江戸時代は神戸市内の歴史的展開の「空白期」で、そうしたことに関心があれば姫路を訪ねることを薦める。  
・総じて、今回のフィールドワークは神戸の中心区域の把握、東アジアの文化多様性理解に高い効果があったと判じられる。なお、次回授業の日本文化セクションにて振り返り学習を行う。



【写真】花時計前にて (③)

参加者（向かって右から）

バハルさん（正規、2月～）

ソニーさん（正規、3月～）

マジェドさん（自由参加、エジプト）

ジュンさん（自由参加、インドネシア）